

三重リレーカーニバル 新型コロナウイルス感染症対策について

① 大会運営全般について

- 3密(密閉空間・密集場所・密接場面)を可能な限り排除する。
- 受付時に出場選手の体調チェック表を提出すること。提出なき場合は出場を認めない。
- できる限り自身の競技時間に合わせて来場し、競技終了後は、速やかに帰宅すること。
- 無観客試合とする。
ただし、小学生の引率のための保護者は、来場可能とする。その際の待機場所は、バックスタンド及びサイドスタンドとし、観戦の際は、座席の間隔を空けて距離を十分に保つこと。また、子どもの競技終了後は会場にとどまらず、速やかに帰宅すること。
- 第二競技場への入場は、選手及び指導者(小学生はIDで管理)に限る。
- 選手の待機場所は、中学生(コンコース・雨天走路横)、小学生(メインスタンド)とする。
メインスタンドへの入場は、小学生選手及び指導者(ID保持者)のみとし、保護者は入場不可とする。
- 大会役員・競技役員ともに、当日審判受付にて体調チェック表を提出する。
- 選手・役員全ての関係者において、発熱症状や体調不良等が認められる場合は入場を認めない。
- 全ての大会関係者は、原則マスク着用とする。ただし、競技中(ウォーミングアップ等を含む)の選手や熱中症の健康被害が発生すると判断した場合は着用しなくてもよい。なおマスクを着用しない場合はソーシャルディスタンスを十分に保ち、咳エチケット等十分に配慮すること。また、手指消毒、手洗いをこまめに行うこと。
- 役員室・審判控室等の諸室は、熱中症対策として空調を効かせながらも換気を十分に行う。
- 看護師を常駐させる。
- 発熱者専用の個室を準備し、通常の医務室利用者と熱中症ではないと判断された発熱者を隔離する。
- ソーシャルディスタンスを保ち、向かい合っの飲食や大声での会話は控える。
- 選手を含む大会関係者に対して、大型スクリーンやLED表示板、放送等を活用し、感染症対策の注意喚起を適宜行う。
- 受付には透明パネル(フィルム)を設置し、飛沫感染対策を施す。
- 使用済みのマスクやティッシュ等は必ず持ち帰ること。会場にはゴミ箱等の設置はしない。
- 大会終了後(1週間以内)に参加者(選手・顧問・監督・コーチ)にコロナウイルスの感染が認められた場合には、直ちに三重陸協まで連絡すること。
- 大会開催の有無、実施方法の変更、感染症対策の変更・追加については、三重陸協ホームページに掲載する。

② 競技運営について

- 声を出しての応援は禁止する。また、フィールド選手への声かけ(返事等)は禁止する。
- ゴール後スタート位置に戻る時は競技場内芝生上を通行してもよい。天候等によってはダッグアウトを通行してもよいが、密にならないように注意すること。また、進行中の競技に配慮すること。
- 競技者が1カ所に集まると想定される競技前の待機中は、ソーシャルディスタンスを確保し、密にならないよう配慮する。また、競技者同士の会話等は控えること。
- 記録の発表はアナウンスおよび大型スクリーン、WEBの速報サイトのみとする。原則掲示は行わない。
- 表彰式は行わない。各種目の入賞者・チームは競技終了後、エントランスホールまで表彰状を取りに来ること。

以上のように、感染の可能性を極力抑えるために入念な対策で大会運営に臨みますが、100%感染を防止するだけのわけではありません。万が一、新型コロナウイルスの感染が確認されたとしても、主催者は責任を追うことができない点をご了承ください。